

大賞「地域協働ファシリテーター」

岩手県 水土里ネット豊沢川

クリーン作戦や植樹活動、施設見学会を通じて 一般住民に農業施設や多面的機能の重要性をPR

位置図



▼水源涵養林の植樹



▲豊沢川へ稚魚を放流

植樹祭や稚魚放流の行事が 子どもたちの学びの場に

水土里ネット豊沢川があるのは、岩手県のほぼ中央に位置する花巻市を中心とし、豊沢川や猿ヶ石川が流れ込む県内有数の肥沃な穀倉地帯です。

この地域では昭和50年代からは場整備事業が実施され、現在では管内の85%が大区画化され、ほぼ全域で用水路のパイプライン化が完了しています。しかし、農業者の高齢化や後継者不足が進むにつれて、生活排水の流入による水質悪化や施設の維持管理能力の低下などの問題が目立つようになりました。

そこで、農業や土地改良区と関連がない地域住民にも、水土里ネットの役割や施設が持つ多面的機能について幅広く知ってもらいたいとの思いから、自治会や地元企業などと連携して21創造運動に取り組むことにしました。

特に力を入れているのが、清掃活動や植樹活動などの環境保全活動です。

平成6年から実施している「豊沢川クリーン作戦」には、市内の各企業や地域住民が参加して、毎年4月と8月に豊沢川流域の清掃活動を行っています。

また、毎年6月には「水源涵養林植樹活動」を実施。管内の小学校から児童たちが参加し、ブナの苗木を植える体験を通じて、「木を増やすことが水や環境を守ることにつながる」と学んでいます。また植樹に加えて、豊沢川にイワナやヤマメ、サケの稚魚も放流し、子どもたちが水の大切さや多面的機能について理解を深める場となっています。

平成12年からは、毎年9月に「豊沢川の森市民植樹祭」を開催。平成29年の植樹祭には、地元の学童クラブや森林保全団体の関係者など約300人が参加し、約1万平方メートルの敷地にコブシやミズナなどの苗木を植樹しました。

加えて「土地改良施設見学会」も定期的に行い、平成28年度は8回開催。市内の5つの小学校に通う児童たちのほか、岩手大学の学生や一般市民などのべ421名が参加しました。

17団体とアドプト協定を締結 共同で施設の維持管理を担う

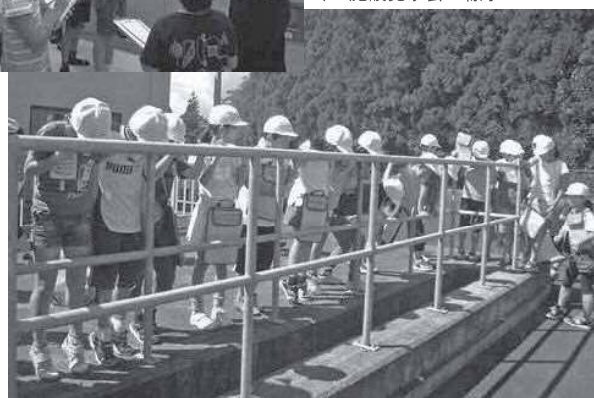
これらの取り組みを継続した結果、地域住民の間で活動への認知度も向上し、クリーン作戦や植樹活動、施設見学会など全活動の参加者を合計すると、過去3



▲アドプト協定締結団体による草刈り



◀施設見学会の様子



豊沢川クリーン作戦

年間で年間4688人から5466人に増加。とくに施設見学会は、小学校教員の間で認知度が向上し、児童の参加数は過去3年間で年間600人から800人に増えました。

さらに平成17年度からは、「みんなの施設をみんなを守る」を目標として、路線や延長を協議の上、水土里ネット豊沢川と花巻市が地元の企業や団体とアドプト協定を締結。協定団体が共同で、用排水路の清掃・修理・草刈り、および松島園（ため池）周辺の農村公園の清掃・植栽・草刈りを行うことになりました。

協定を結ぶ企業や団体の数は年々増えていて、平成28年度末時点で建設業者8社、企業2社、自治会5地区、NPOなど各種団体2組織の合計17団体と19の協定を締結しています。これは水土里ネットが21創造運動に積極的に取り組み、組合員以外の一般市民と連携した活動が増えたことで、地元企業や団体の間にも土地改良区の役割や施設を維持管理する重要性への理解が広まったためと考えられます。平成22年度には、協

定団体の一つが「岩手県アドプト活動モデル賞」を受賞するなど、当地域の活動は県内でも模範になる優れた事例として高い評価を受けています。

土地改良区が長寿命化工事を受託 地域住民にもメリットが浸透

管内の多面的機能支払交付金による活動については、水土里ネット豊沢川が長寿命化工事の設計と施工管理を一括で受託しています。

水路の上流から非農家の宅地周辺を含む流末まで一貫して整備することで、降雨時の冠水被害や施設の維持管理にかかる労力も軽減されました。一般住民もこれらのメリットを実感できたことで、水土里ネットの果たす役割が地域全体に浸透しつつあります。

こうして組合員以外の地域住民との関係が深まり、活動に参加する人も増えたおかげで、「地域の環境や施設は自分たちの手で守る」というモチベーションが地域全体で高まっています。これからも水土里ネットが地域共通の資産であるという認識を深めてもらうことを目標に、より一層の努力を重ねていくつもりです。



長寿命化対策で更新した水路を活動組織と共に現地確認

水土里ネット概要

水土里ネット名	水土里ネット豊沢川
役員数	12名
職員数	常勤20名、非常勤3名
組合員数	3,872名
受益面積	4,979ha

*平成29年4月現在